

まち・ひと・しごと創生

大野市総合戦略
平成27年度における取り組み状況



福井県 大野市

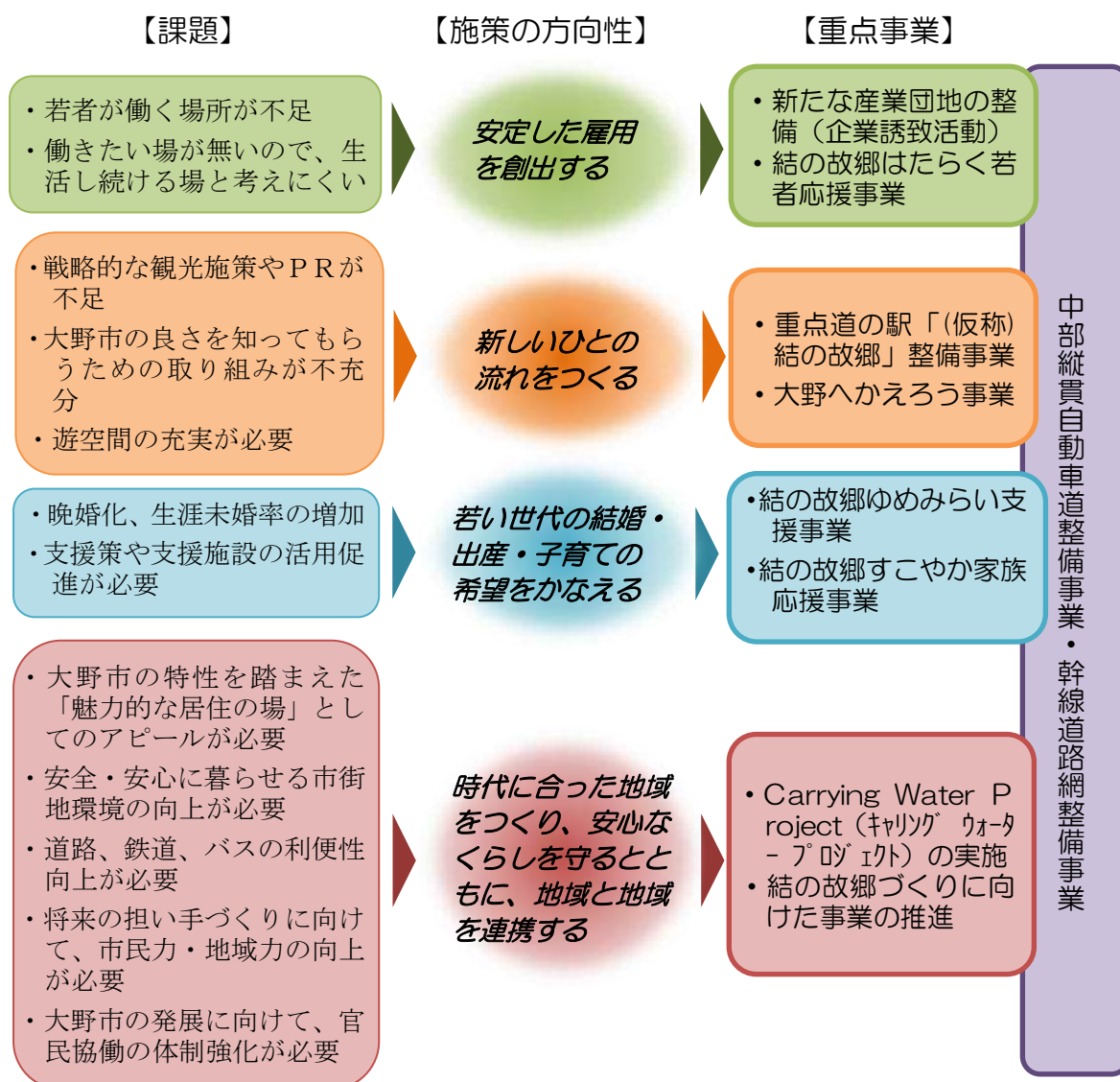
1 総合戦略とは

大野市における最上位の計画である第五次大野市総合計画との整合性を図りながら、人口減少対策や地方創生に的を絞り、戦略的に取り組んでいくことを目的とした計画です。対象期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間です。

平成20年頃から全国的な人口減少時代が到来し、今後、さらなる人口減少の加速化が懸念されており、本市においても、人口減少や少子化・高齢化の進行に伴い地域コミュニティの存続が危ぶまれています。

人口減少を食い止めるためには、「まち」「ひと」「しごと」の創生を図って、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが必要です。

そのため、本市では、議会の代表をはじめ、産、官、学、金融機関、労働団体、メディア、女性、若者、高齢者など各界各層の方々と連携し、現状や課題などを分析するとともに、目指すべき4つの施策の方向性に基づき各種事業に取り組んでいます。



2 平成27年度の実施状況

大野市総合戦略の1年目の実施状況について、4つの施策の方向性ごとに実施した主な事業と、進捗状況を把握するために定められた目標である重要業績評価指標（K P I）について報告します。

（1）安定した雇用を創出する

産業の発展については、実践型地域雇用創造事業を実施し、雇用拡大・人材育成セミナーの開催、ウェブサイト・機関紙による情報発信、地域資源を活用した土産品の開発準備、体験観光メニューの開発準備を行いました。

働きやすい環境づくりについては、はたらく若者定住奨励金を交付し、大野に定住し働いている若者311人を支援しました。

農林業の維持・発展については、新規就農者経営支援事業補助により、青年就農給付金（45歳未満）を3人に、就農奨励金（45歳以上）を1人に交付し、農業後継者の確保と育成を図りました。



雇用拡大セミナー



農林業の維持・発展

実施した主な事業

基本的方向	事業名	決算額(千円)
産業の発展	実践型地域雇用創造事業 ※越前おおの雇用創造推進協議会事業費	14,673
働きやすい環境づくり	はたらく若者定住奨励金	37,320
農林業の維持・発展	新規就農者経営支援事業補助	5,650

KPI 達成状況

	数値目標指標	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
《基本目標》	新規企業誘致による雇用創出数	—	21	50	人
	一般職業紹介による就職率	50.22	53.68	52.75	%

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
産業の発展	大野市企業立地助成金件数(累計)	—	—	2	件
	産業団地の整備(累計)	—	—	1	件
	チャレンジ支援企業数(累計)	9	11	50	企業
	人材育成セミナーの開催などによる 就業者数(累計)	—	32	123	人
	女性起業家・経営者支援制度活用 件数(累計)	1	0	5	件
働きやすい 環境づくり	満 17 歳時と比較して満 22 歳時の人口比率	80	78	83	%
	育児休業取得支援制度を活用した 中小企業者数(累計)	4	5	25	企業者
	ウェブ・グラフィック系講座開講数(累計)	—	—	4	講座
農林業の維持・発展	活性化に取り組む集落数の累計	18	19	28	集落
	農業への参入企業数	—	—	1	企業者
	新規就農者数の累計	22	22	26	人
	畜産農家数	10	9	10	戸
	農産物加工商品の開発品目数	—	1	5	品目
	間伐材搬出材積量	12,793	24,509	28,000	m ³

(2) 新しいひとの流れをつくる

越前おおのブランド戦略の推進については、越前おおのブランド推進事業において、ブランド大使やゆいびとファンクラブ会員の活用、ふるさと納税の促進、地域おこし協力隊活動を通してのブランド発信などを行うとともに、結の故郷イメージ確立事業では、高速道路のSA・PAでの広報、ブランドPRグッズの制作、天空の城三城連携事業などを行いました。

中心市街地の活性化とまちなか観光の推進については、まちなかの空き店舗などへの新規出店を支援するため、店舗の家賃経費の一部を補助するとともに空き地空き家見学ツアーを実施しました。

交流の促進については、地域おこし応援事業（結の故郷農業農村活性化支援事業）として、和泉地区で「緑のふるさと協力隊」1名の受け入れを行いました。また、地域おこし協力隊事業として、「地域おこし協力隊員」1名を新規採用し、「天空の城 越前大野城」を中心としたブランド発信などの活動を行いました。

魅力的な居住地づくりについては、大野市都市景観形成建築物等整備事業補助金により、景観形成地区（七間通り、五番通り、寺町通り）において2件の修景工事に助成しました。また、結の故郷越前おおのまちなか町屋暮らし支援事業補助金により、越前おおの城下町地区で町屋型住宅の外観工事（新築1件、改修2件）に助成しました。

訪れたくなる環境の創出については、「まるごと道の駅」拠点整備事業を実施し、重点道の駅「(仮称) 結の故郷」基本設計などを行いました。

I・J・Uターンの促進については、結の故郷奨学金事業により、本市出身の大学生などに奨学金を貸与するとともに、ポスターやチラシで制度をPRしました。

プロモーションと受入れ体制の強化については、まちなか観光施設等フリースポット整備事業を行い、市内の観光案内所など9か所に無料Wi-Fiスポットを整備しました。



ブランド大使（齊藤一郎氏）



空き地空き家見学ツアー



地域おこし協力隊



重点道の駅イメージ図（H28.3 現在）

実施した主な事業

基本的方向	事業名	決算額(千円)
越前おおのブランド戦略の推進	越前おおのブランド推進事業 良縁の樹魅力向上事業補助 結の故郷イメージ確立事業	37,467
中心市街地の活性化とまちなか観光の推進	中心市街地店舗再生事業補助 まちなか空き地・空き家マッチング事業	1,391
交流の促進	地域おこし応援事業(結の故郷農業農村活性化支援事業)	3,029
	地域おこし協力隊事業	2,950
魅力的な居住地づくり	大野市都市景観形成建築物等整備事業補助金 結の故郷越前おおのまちなか町屋暮らし支援事業補助金	7,866
訪れたい環境の創出	「まるごと道の駅」拠点整備事業	8,279
I・J・Uターンの促進	結の故郷奨学金事業	50,155
プロモーションと受入れ体制の強化	まちなか観光施設等フリースポット整備事業	3,639

KPI 達成状況

	数値目標指標	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
《基本目標》	観光入込客数	193	207	210	万人
	地域ブランド調査による大野市の魅力度	829	533	400 位以内	位

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
越前おおの ブランド戦略 の推進	地域ブランド調査による大野市の魅力度	829	533	400 位以内	位
	観光入込客数	193	207	210	万人
中心市街地の活性化と まちなか観光の推進	歩行者通行量(秋)	4,233	4,542	4,850	人
	まちなかの観光客入込数	65.9	89	84	万人
交流の促進	姉妹都市など交流に関する協定などを締結している自治体数	13	13	14	自治体
	地域おこし協力隊などの隊員数	1	2	5	人
魅力的な居住地づくり	中心市街地での住宅取得に対する助成及び町家住宅の家賃減額措置の累積件数	12	16	22	件
	町家住宅の転入者世帯累積数	—	4	2	世帯
	修景工事助成累積件数	30	35	50	件
	定住のための住宅取得やリフォームに対する助成の累積件数	201	250	350	件
	空き家情報バンク延べ登録数	17	23	34	件
訪れたい環境の創出	重点道の駅「(仮称)結の故郷」完成	—	全体計画(案)の作成	完成	—
	文化施設(旧宇野・黒原邸)利用者数	—	—	2	万人
	農家民宿開業数の累計	1	1	2	軒
	満 17 歳時と比較して満 22 歳時の人口比率(再掲)	80	78	83	%
I・J・Uターンの促進	奨学金利用者で当該年度に卒業したもののうち帰郷した割合	—	—	40	%
	ふるさと定住者件数の累計	34	53	59	件

プロモーションと受入れ体制の強化	フリースポット施設整備数	—	9	14	箇所
	HPアクセス 年度アクセス数	305,916	492,235	370,000	件
	結の故郷 越前おおの公式フェイスブック年度平均いいね数	825	1272	1,500	いいね
	外国人宿泊者数	—	192	3,000	人
	多言語化されたパンフレット数	1	3	5	—

(3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚への支援については、独身者の婚活力を向上させるため、婚活力ステップアップ事業を実施し、婚活力ステップアップセミナーと婚活サポーター講座を各12回、婚活イベントを2回開催しました。

経済的な支援については、市内に定住している若年世帯や子育て世帯を支援するため、市内店舗で使用できる年額10万円の商品券を交付する結の故郷ゆめみらい支援事業と結の故郷すこやか家族応援事業を実施しました。

子育て支援については、一時預かり事業補助を実施し、保育所での緊急・一時的な児童の受け入れを行い、延べ3,400人以上が利用しました。



商品券の交付



保育所での子育て支援

実施した主な事業

基本的方向	事業名	決算額(千円)
結婚への支援	越前おおの婚活力ステップアップ事業	5,571
経済的な支援	結の故郷ゆめみらい支援事業 結の故郷すこやか家族応援事業	71,725
子育て支援	一時預かり事業補助	18,149

KPI 達成状況

	数値目標指標	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
《基本目標》	合計特殊出生率	1.62	1.54*	1.66	—
	婚姻率	3.9	3.3	4.3	—

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
結婚への支援	婚活セミナー参加者数	187	89	230	人
	ハッピープライダル応援事業申請件数	9	9	15	件
	婦人福祉協議会のイベントなど共催回数	2	2	2	回
経済的な支援	婚姻率	3.9	3.3	4.3	—
	出生率	6.3	6.2	6.7	—
	児童手当受給対象児童数	3,480	3,615	3,500	人
子育て支援	地域子育て支援センター利用率	91	85	100	%
	一時預かり実施率	100	100	100	%
	延長保育実施率	100	100	100	%
	病児・病後児デイケア収容可能児童数(1日当たり)	4	4	4	人
	全学校区での放課後など児童クラブ・放課後子ども教室の実施率	100	100	100	%

* 当該年の合計特殊出生率は、翌年12月に確定するため、本市の独自算出による暫定数値を掲載しています。

(4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

連携のまちづくりの推進については、水をテーマとした一大プロジェクト「水への恩返し Carrying Water Project」により、一般財団法人水への恩返し財団を設立するとともに、日本ユニセフ協会とパートナーシップ提携を締結しました。寄附金を募り、平成29年からの3年間で、東ティモールの給水施設整備を支援する予定です。

安全安心なまちの形成については、「高齢者が安心して住める安全・安心なまちづくり事業」の一環として、女性消防団員52名が管内高齢者300世帯を訪問し防火啓発冊子などを配布するとともに防災指導を行いました。

暮らしやすい環境の整備については、まちなか循環バス、乗合タクシーの運行を支援するとともに、市営バス白山線・和泉三線の運行や路線バス大矢戸線の運行補助を行いました。

特色を生かしたまちづくりについては、「結の故郷創生会議」において、名水マラソンなど各種イベントでのPRやタウンミーティングの開催などを行った「水への恩返し Carrying Water Project」、ポスター展の開催や高校生に向けた楽曲の制作などを行った「大野へかえろう」などの事業を展開しました。また、結の故郷学校ICT推進事業を実施し、小学校5・6年、中学校1～3年の普通教室に電子黒板、タブレット型ノートPC、書画カメラなどのICT機器を整備し、教育効果の向上を図りました。

市民力・地域力の向上については、地域づくり活動の支援として、地域の活性化や課題解決に向けた地域づくりを推進する結の故郷づくり交付金を9地区団体に交付し、自治会がコミュニティセンターを年間30日以上開館して世代間交流などを実施する世代間結づくり事業で7区に助成しました。また、人づくりを通して地域づくりを推進する「結の故郷・人づくり学習事業」を実施し、世代間交流が49回、子どもの自然体験活動が6回開かれました。



まちなか循環バス



「水への恩返し Carrying Water Project」
タウンミーティング



大野ポスター展



I C T機器の整備



さかだに雪まつり（結の故郷づくり交付金）

実施した主な事業

基本的方向	事業名	決算額(千円)
連携のまちづくりの推進	キャリングウォーター事業	3,234
安全安心なまちの形成	火災予防思想啓発事業 (女性消防団員による高齢者世帯への防火訪問・ 防災指導)	175
暮らしやすい環境の整備	市内路線バス等運行事業	52,602
特色を生かしたまちづくり	結の故郷創生会議負担金	111,618
	結の故郷学校ICT推進事業	58,234
市民力・地域力の向上	結の故郷・人づくり学習事業	6,619

K P I 達成状況

	数値目標指標	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
《基本目標》	市民の名水・御清水を大野市の誇り・象徴と考える人の割合	86.4	—	90	%
	自主防災組織の結成率	93	93	99	%

基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	H26 基準数値	H27 実績	H31 目標数値	単位
連携のまちづくりの推進	Carrying Water Project に対する民間の年間協力件数	—	7	200	件
	協働事業提案団体数	2	2	5	団体
	支援活動実施回数の累計	—	—	30	回
安全安心なまちの形成	自主防災組織の結成率	93	93	99	%
	高齢世帯への防火訪問世帯数の累計	150	450	1,600	世帯
	越前おおの結の見守り活動に関する協定を締結した事業所数	13	21	18	事業所
	地域での除雪支援事業に取り組んだ地区数	115	18	125	地区
	防護柵の延長(鳥獣被害防止)	163,000	164,834	178,000	m
暮らしやすい環境の整備	バス・乗合タクシーの年間利用者数	35,425	33,464	44,000	人
	広域路線バスの年間利用者数	284,451	275,532	355,000	人
	越美北線の年間乗客数	336,378	336,578	345,000	人
特色を生かしたまちづくり	Carrying Water Project に対する民間の年間協力件数(再掲)	—	7	200	件
	地域ブランド調査による大野市の魅力度(再掲)	829	533	400 位以内	位
	満 17 歳時と比較して満 22 歳時の人口比率(再掲)	80	78	83	%
	結の故郷小学生ふるさと芸能発表団体数	6	7	7	団体
	デジタル教科書が配備された学年における授業日数に対するICT機器を活用した日数の割合	—	—	80	%

市民力・地域力の向上	住民が主体的に地域づくりを実施した事業数	36	36	50	事業
	青年活動回数	17	13	20	回
	むかし語りの実施回数	30	39	40	回
	団体・市民に対する国旗を掲げる運動の啓発回数	15	15	25	回
	世代間交流活動の実施回数	8	49	12	回

大野市総合戦略
平成２７年度における取り組み状況

平成２８年９月
大野市企画総務部企画財政課